



**日本共産党**  
市川市議会議員  
浦安市川市民病院  
議会議員

# 谷藤利子の市政報告

発行責任者: 谷藤利子 2006年6月28日 NO36  
連絡先: 自宅398-5948 携帯090-7250-7852 メールアドレス: tanifuji5948@hotmail.com

無料法律相談

8月1日(火)  
市川市役所内、日本共産党控え  
室にて。予約制です 334  
- 1111(内線)4591

## 定例6月市議会で質問

定例6月市議会は6月7、22日まで行われました。私(谷藤)は、市長提案の議案質疑では、所得税・住民税の定率減税廃止などの増税に対して、市独自の市民負担軽減策はできないか質問しました。

一般質問では、行徳駅や南行徳駅近くにある、利用の伸びていない駐輪場の無料化拡大で放置自転車をなくすことや、撤去された自転車の回収料金(4000円)の引き下げについて、行徳駅前公園内通路を雨による冠水をなくすことや公園内研修室の改修について、島尻地域のマンション建設に伴う学校や保育園などの公共施設の対応について、とりあげました。

## 行徳駅前公園内通路改修、「優先してやる」と答弁

行徳駅前公園内で一番通行の多い通路が「雨で冠水して困っている」との声が何人もの方から寄せられていたことから、最優先で改

善するよう求めました。

これに対して行徳支所長から、「公園内通路は300メートルを改修する計画があるが、ご指摘の通路は通行が多いことから、優先して今年度内に行う。」と答弁しました。

また、公園内研修室のたたみやテーブルの改修を求めたのに対しては、「他の研修室のたたみはもつと老朽化していることから、計画的に行う。テーブルは検討したい」とのことでした。



雨で冠水した行徳駅前公園内通路

## 駐輪場料金格差と引取り料金引き下げを検討すると答弁

有料化された駐輪場の2階は利用されず、ガラガラでした。

### 放置自転車の撤去多く、引き取りは伸びず

また、駅近くの放置が目立たないと思っただけは撤去を徹底して行っているからです。しかも、撤去された自転車の保管場所が遠いし、回収料金が4000円と高いため引き取りにいかないというところも明らかになりました。



行徳駅に近い有料駐輪場2階

### 無料化や料金引き下げで駐輪場利用延ばすように

私(谷藤)と南行徳のまちづくりを考える会は、利用の伸びない駐輪場の無料化や撤去された自転車の回収料金の引き下げをして放置をなくし、駐輪場を利用することを優先するよう、申し入れしてきました。

### 利用されていない有料駐輪場2階

ところが、四月に住民から指摘されて現地調査をして改めてわかったことは、無料駐輪場に置こうと思っただけで仕方なく駅近くの公園や路上に放置しているということでした。一方、

## 相変わらず多い市川市の放置自転車と撤去後の引取りが伸びない現状

年度	撤去台数	引取り台数	引取り率	破砕台数
15年	22,141	7,161	32%	13,552
16年	21,690	7,315	34%	13,273
17年	18,032	5,200	29%	11,648



**岡田幸子**  
県議会議員予定候補  
(現市川市議)

来年四月は4年に一度の県議市の選挙が行われます。日本共産党の市川での県議員の議席は残念ながら3年前に失ってしまいました。

平和といのちをくらし切捨ての国政が続いている中、来年の県議選では何としても市川での日本共産党の議席を回復しなければなりません。そのため現職の市議岡田幸子さんを県議候補として擁立することになりました。

みなさまのご支援よろしくおねがいます。

# 島尻の工業地帯がすべてマンション街に



島尻の隣の広尾に計画されている  
広尾防災公園と公共施設用地

行徳で最も南西部、浦安との市境に島尻という地域があります。7、8年前まではそのほとんどが工業地域となっていました。景気の低迷で全て撤退し、マンション開発業者によって買い占められ、分譲マンション街へと変貌しました。入居者は15歳未満と30代が一番多く、保育園や学校などの施設が不足することが明らかになってきていることから、昨年九月議会に続き、安心して住み続けられるよう、十分な対応を求めました。



校庭に増築された軽量鉄骨の校舎

建物番号	階数	戸数
1	8階	77戸
2	10階	131戸
3	9階	72戸
4	14階	40戸
5	12階	224戸
6	15階	120戸
7	20階	608戸
8	7階	34戸
計		1306戸



## 定率減税の廃止による市民税の増税と市独自の軽減策について質問しました。

すでに行われている税制改正では、定率減税の縮小・老年者控除の廃止・公的年金控除の縮小などで、17年度の市川市の市民税で8億5650万の増税、18年度当初予算では約30億円の増税になっています。

今度の定率減税の廃止は、こうした増税に加えて、平成19年度から実施するというもので、所得税と住民税合わせた定率減税全廃の額は日本全体で約3兆円、サラリーマンの約9割が対象に。市税と所得税両方で、国会での財務省主税局長の答弁では、年収500万の4人家族で年間3万5千円の負担増になるということです。年収700万の4人家族では、82000円増に。

一方、トヨタ自動車など所得上位十社の納税額は20年前に比べて約6700億円も減税されています。私は、負担ばかりが増える市民が医療や福祉が受けられないことのないよう、市民への還元を強く求めました。

## 人口急増に対応する公共施設の増設を求め明らかになったことは？

### 広尾防災公園用地と隣接して設置する計画 (いずれも平成22年開設)

- ・ 保育園150名定員・子育て支援センター併設、
- ・ 特別養護老人ホームとショートステイ開設
- ・ 消防出張所併設で市民も利用できる集会室設置

### 新井小学校で対応する計画

- ・ 軽量鉄骨の校舎12教室分増築、(35クラスまでは対応可。平成12年18クラス、現在23クラス)
- ・ 来年4月から、新井3丁目は富美浜小学校へと学区変更(新一年生から実施。兄弟は希望によって同じ学校に)
- ・ 学童保育クラブ3教室に増設  
(平成15年40人定員から、平成18年120人定員に。現在97名入所)